

# 防災センターとしての「あいぽーと」の役割

## 【はじめに】

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震は、岩手県内陸南部、宮城県内陸北部を中心に、大きな被害をもたらしました。震源は岩手県内陸南部でマグニチュード7.2、最大震度6強を観測しました。

震源が山間部だったことなどから、過去の大地震（阪神・淡路大震災や新潟県中越地震）と比べて建物被害が極端に少ないのに対し、多数の土砂災害が発生しました。

あいぽーとには国土交通省の現地対策本部が設置され、TEC-FORCEの派遣及び災害復旧の拠点などとして活用されました。

## 【地震の概要】

【発生日時】 6月14日8時43分頃

【場所】 北緯39度01.7分 東経140度52.8分（岩手県内陸南部の深さ8km）

【規模】 マグニチュード7.2

【震度】 6強（岩手県奥州市、宮城県栗原市）

6弱（宮城県大崎市）

5強（岩手県北上市、一関市、金ヶ崎町、平泉町、秋田県湯沢市、東成瀬村

宮城県仙台市、名取市、登米市、利府町、加美町、涌谷町、美里町）

岩手県・宮城県内の一般被害（平成21年1月13日現在：消防庁）

	人的被害（人）				住家被害（棟）			火災
	死	行方	重	軽傷	全	半	一部損	
岩手県	2	0	9	28	2	4	763	2
宮城県	10	8	56	334	28	138	1,607	1
合計	12	8	65	362	30	142	2,370	3

## 【地震対応時のあいぽーとの状況】



現地対策本部 全体打合せの状況（あいぽーと内学習スペース）



災害対策車両（照明車）



臨時ヘリポートの状況

## 【テックフォース(TEC-FORCE…Technical Emergency Control Force)とは】

緊急災害派遣隊といい、平成20年5月に設立され、今回の地震ではじめて派遣されました。

これまでの災害対応職員は、災害の度にその都度任命されていましたが、普段から派遣人員を任命しておくことにより、災害対応の訓練を行うことが可能になり、以前より迅速な対応ができるようになりました。

先遣隊や調査、技術指導、応急対策など、様々な分野で都道府県などへの支援を中心に活動します。

## あいぽーと企画展 「岩手・宮城内陸地震」

【開催期間】 平成21年2月21日 ～ 平成21年4月12日

【開催内容】 「岩手・宮城内陸地震」での、岩手県・宮城県における天然ダム対策や、復旧作業に従事した人たちの体験談、現場での作業に使用した機材などを、パネルや展示で紹介

【開催状況】



《パネル等の展示状況》



《パネル(体験談紹介)の一例》



《投光器の展示》



《現地で掘削した石の展示》

※ 企画展で使用したパネルや機材の一部は、常設展示として展示中です。